

# なごみ苑

第19号

(福)長岡市社会福祉協議会山古志支所  
(山古志地域福祉センターなごみ苑内)  
〒947-0205  
長岡市山古志虫亀219番地の2  
電話：0258-41-1180  
FAX：0258-59-2081

## 届けてきました!!山古志の経験を

11月24日(木)~26日(土)の2泊3日、熊本県阿蘇郡西原村へ熊本地震支援応援団として集まった15人が中越大震災で山古志が経験したことを伝えてきました。

### 【活動その1】義援金等を渡しました。

初日は、熊本空港へ着いてからすぐ西原村役場を訪問し、星野地区社協会長はじめ各代表者がそれぞれの団体に寄せられた義援金等(総額574,291円)を日置村長へ手渡しました。

- 山古志地区社会福祉協議会義援金 437,000円  
内訳：封筒募金 422,500円  
：なごみ苑設置の募金箱 14,500円
- 山古志産業まつり実行委員会からの義捐金(ぎえんきん)

義援金等を受け取った日置村長からは、感謝とねぎらいの言葉をいただきました。

郷見庵設置の募金箱による義援金

長岡市老人クラブ連合会 山古志支部からの見舞金

山古志中学校の生徒会が集めた義援金



このなごみ苑だよりは、赤い羽根共同募金配分金で発行しています。

## 【活動その2】交流活動をしました。

24日の夕方は、西原村役場職員や地元役員等の方々、25日の夕方は古閑地区と布田地区の2会場に分かれて地元住民との意見交換会を行いました。

### 〈西原村から〉

- ・仮設から自宅までは距離が近いので、頻繁に行き来している。
- ・連絡網ができていない。
- ・活断層が怖い。

### 〈山古志から〉

- ・仮設住宅の活動写真と山古志の被災状況の資料を基に仮設住宅での生活の説明を行った。
- ・孤立や孤独死がないように見守りが必要。



### 〈古閑地区、布田地区住民から〉

- ・集落でも被災状況により意見が分かれています。村の方針や復旧状況が伝わってくると震災直後より戻りたいという世帯が増えている。

### 〈山古志から〉

- ・「帰ろう山古志」をスローガンにし、住民全体で帰村することを目標とした。
- ・みんなで西原村に帰りましょう。

## 【活動その3】物資による支援活動をしました。



山古志の棚田で育てた新米と地元のモチやさんが加工したお正月用のおもちにメッセージを添えて仮設住宅1軒1軒声をかけながら全世帯（312世帯）に手渡しました。

受け取った方々からは「遠くまでわざわざ来てくれてありがとうございます。」「おいしそうですね。」「皆さんの支援を力にします。」などの言葉をいただきました。

### サロン交流活動



### ・『も～まけねえぞう』作りの伝達講習

種芋原地区のグループかたくりのメンバー3人がぞうのタオル掛け『も～まけねえぞう』の作り方を伝達しました。

阪神淡路大震災で被災した神戸から始まった“手芸を通じた生きがづくり”は中越大震災後の山古志に伝わり、最近では福島県など全国の被災地へ伝わっています。

また、この活動の様子は26日の地元紙に掲載されました。

### 《ふり返って》

西原村の皆さんも明るく元気でした。支援活動により一層強たくたくましくなったような気がしました。一日でも早い西原村の復旧復興を祈っています。

義援金等にご協力いただいた方、支援活動に参加いただいた方々に感謝申し上げます。

※支援活動の様子が12月8日(木)NHKのあさイチで放送される予定です。

(時間:8時15分～9時の間)

